

- ★→好エントリー
- 利確
- ★→×エントリー
- 損切



①箇所：売り圧の強さと上髭・大陰線後の買い圧の弱さ・指数の下落から下落トレンドを形成し窓埋めすると考えてR4抵抗線付近でショートエントリー。損切は上髭の上値箇所に設定。一度下げはしたが大陰線の下髭で下落が止まり、上に30ティックくらいワープして一瞬で損切ラインに到達。日経寄与度高いSBGを買い上げて指数を釣り上げようとする大きな力を確認。この時点で売り目線から買い目線に転換した。

④箇所：上値ブレイクして押したところをエントリー・指数強い・ラインエントリー箇所
 下値抵抗線は記入していたが、上値抵抗線を記入しておらず利確した1本前の上値抵抗線タッチ箇所で利確出来ず

⑥箇所：急落に反応するのが遅れた。SBGも観ていてミスった。下値抵抗線までめがけてなかなかの成り売りが入った。それにビビって上値抵抗線まで利確粘れなかった

⑧箇所：下値抵抗線タッチ。指数横横だが強く推移。連続2回目の大陰線。急落。
 抵抗線エントリー割れて損切。そこまではまだよかったが、⑨箇所にて、ドテンショートした。根拠をもってエントリーしたところを抜けてくるということは相当強く売り圧がかかっていると思った。上昇トレンド中の下値抵抗線割れでショートは、指数が急落してトレンド崩したときと抵抗線ブレイクが重なったときだけにするなどしないと往復ビンタになる。
 このパターンであれば、2本目の大陰線が確定して次の足になるまでは損切を見送るほうが良いが。指数とトレンドの推移など複合的に考えてその判断をしないと、そこが下落トレンドの入り口でい大幅下落とこともあり得るから判断難しい